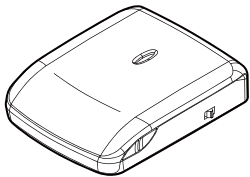
Androidスマートフォン用レーダー探知機

RADARPHONE A01

取扱説明書／保証書

対応端末/OSはP37参照

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう。

目次

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にするために誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ **警告** **警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。**

⚠ **注意** **注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。**

⚠ 警告
●本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。 ●運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。 ●本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

ご使用上の注意

⚠ 警告

●本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

●本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。(ただし、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません)
●本製品の近くに他の車載電子機器を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
●本製品をご利用する際は AndroidMarket からアプリケーションをダウンロードしてご利用ください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

●本製品をご利用する際は3G契約したスマートフォンが必要です。またアプリ使用中に携帯電話の通信料が発生することがあります。
●RADARPHONEアプリを使用中は、携帯電話のバッテリー消費が多くなるため、充電しながら使用することをお勧めします。
●本製品はGPS受信機能を搭載していません。スマートフォンの位置情報サービスを利用し、自車位置を捕捉しています。
●位置情報が入手できない場合や正確でない場合、自車位置が正確に表示されないことがあります。
●本製品にはナビゲーション機能は搭載していません。
●本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
●電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合等、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。

ご使用上の注意

⚠ 注意

●一部ナビゲーションシステム、車載用BSチューナー、CSチューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品が警報を行うことがあります。
●取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがありますが誤動作ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
●一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、レーダー波等の電波が受信できない場合があります。
●部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
●シガープラグコード内蔵のヒューズが切れた場合、必ず同容量、同サイズのヒューズ（2Aミニ管ヒューズ）と交換してください。
●環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本製品の回収を弊社にて行なっています。

⚠ 注意

●本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
●本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
●本製品はDC12V車専用です。（DC24V車へのお取付けはできません）
●キーをOFFにした時、シガープラグの電源が0Vにならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護するため、エンジン停止時は必ずシガープラグコードを抜くか、弊社オプションのZR-01直接配線コードでイグニッション電源に直接接続してください。
●スマートフォンをオーディオ、ナビゲーション、その他周辺機器と接続した状態では本製品が正常に動作しない場合があります。
●スマートフォンをコンポジットAVケーブル またはHDMIケーブル等と接続した状態では本製品が正常に作動しない場合があります。

ご使用上の注意

◆本製品を使用する際の注意点

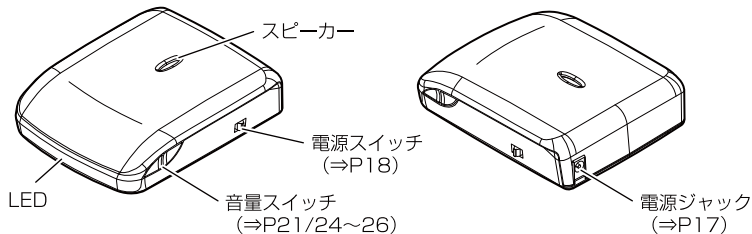
本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

●本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
●万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるかまたは機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
●その他不明な点やお困りのことが起きた時には、弊社サービス部までお問い合わせください。

2.4 FH 1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

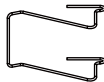
各部の名称

◆本体

各部の名称

◆梱包内容

ステー（1個）

ステーブラケット（1個）

サンバイザークリップ（1個）

シガープラグコード（1個）

※約4m/2Aミニ管ヒューズ内蔵
USB電源出力付き

両面テープ（1枚）
（ステー固定用）

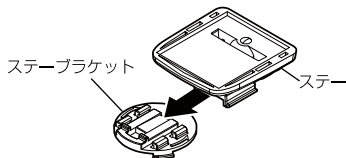
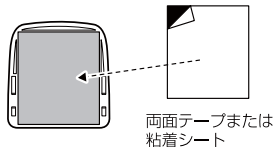
粘着シート（1枚）
（ステー固定用）

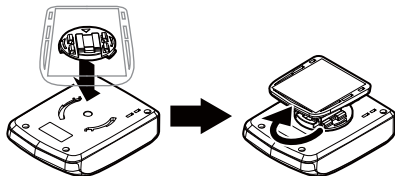
※取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

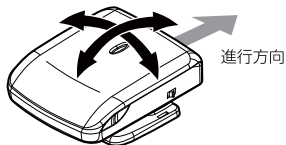
レーダー本体の取付方法

・運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
・道路に対して平行、レーダー本体後部を進行方向に向けて取付けてください。

1 ダッシュボードにステーを使用して取付ける

1 ステーにステーブラケットを取付けます。

2 ステーに両面テープまたは粘着シートを貼付けます。

レーダー本体の取付方法

3 レーダー本体底面の取付け穴にステーブラケットを差込み、「カチッ」と音がするまで回します。

4 濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。

⚠ 警告

エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

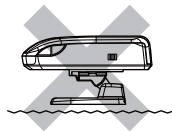
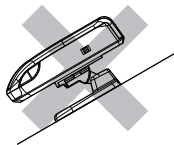
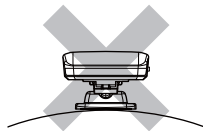
レーダー本体の取付方法

⚠ 粘着シート使用上の注意

・粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤を使い洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。
・粘着シートは以下のような場所に取付けると貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は両面テープを使用して取付けてください。

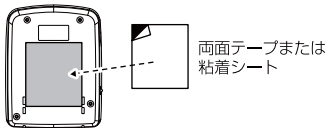
①取付け面が平坦な場所ではない。

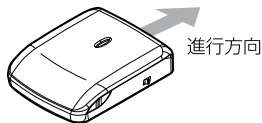
②取付け面が傾斜になっている。

③ダッシュボード表面の凸凹が荒い。

ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

レーダー本体の取付方法

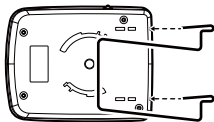
2 ダッシュボードに直接取付ける

1 レーダー本体に両面テープまたは粘着シートを貼付けます。

2 濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。

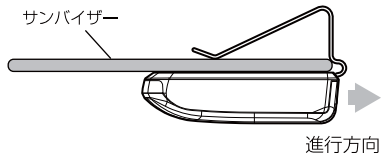
⚠ 警告

・エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。
・長時間高温にさらされるような場所に駐車する場合は、付属のステーを使用して取付けを行なってください。

レーダー本体の取付方法

3 サンバイザーに取付ける

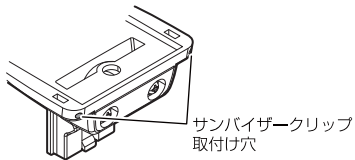
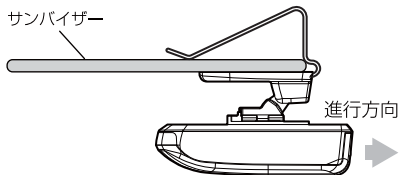
1 レーダー本体にサンバイザークリップを取付けます。

サンバイザークリップを本体の
サンバイザークリップ取付け穴に差し込む

2 サンバイザーにレーダー本体を取付け固定します。

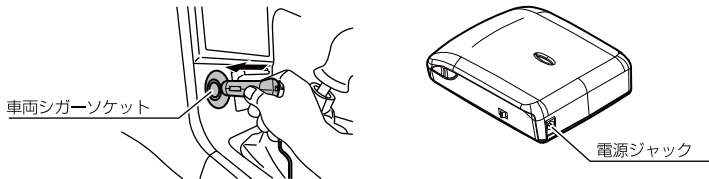
⚠ 注意
サンバイザーの厚みが薄い車両の場合、本体とサンバイザーの間に両面テープを貼付けて使用してください。

レーダー本体の取付方法

4 サンバイザーにステーを使用して取付ける

1 ステーにサンバイザークリップを取付ける。

サンバイザークリップ
取付け穴

2 サンバイザーに取付ける。

⚠ 注意
サンバイザーの厚みが薄い車両の場合、本体とサンバイザーの間に両面テープを貼付けて使用してください。

レーダー本体の取付方法

シガープラグコードを接続する

エンジンを停止してもシガープラグに電圧が12Vある車（一部外車など）は、オプション（別売品）のZR-01「直接配線コード」を使用してください。

基本操作

◆スマートフォンと接続し、初期設定する

1 AndroidMarketから『RADARPHONE』をダウンロードし、ご使用のスマートフォンへインストールします。

2 レーダー本体の電源を入れます。
・LEDが緑色で点滅を始めます。

3 スマートフォンとBluetooth接続します。

スマートフォンの『menu』⇒『設定』⇒『無線とネットワーク』⇒『Bluetooth設定』⇒『デバイス検索』⇒『RADARPHONE』を選択します。

※Android端末によって選択項目、名称が違う場合があります。

4 『RADARPHONE』アプリを起動します。
スマートフォンとレーダー本体が正常に接続できていると、LEDが青色に点灯します。

!

- 『RADARPHONE』アプリを使用する際は、必ずスマートフォンの位置情報サービスをONにした状態で使用してください。『RADARPHONE』アプリはスマートフォンの位置情報サービスを利用して、オービス・GPS警報を行います。
- 本製品とスマートフォンがBluetooth接続されていない場合、Androidアプリのみでの動作は行いません。
- スマートフォンと接続すると、Androidアプリで変更した設定内容が本製品に反映されます。また、スマートフォンとの接続を切断しても、反映された設定が保持されます。

基本操作

5 アプリを起動後、スマートフォンの【MENU】ボタンを押し、表示される『GPS』ボタンをタップして最新のGPSデータをダウンロードします。

6 次に『公開取締』ボタンをタップし、最新の公開取締情報をダウンロードすることで初期設定は完了です。

※メニューアイコン、表示方法はご使用のスマートフォンによって異なります。

◆音量を調整する

・本製品は音量をOFF、1〜10の11段階で音量調整ができます。
・お買い上げ時は、音量が【5】に設定されています。

基本操作

◆本製品のみで使用する

スマートフォンと接続しないで本製品を使用する場合、下記表の機能が変わります。

<table>
<tr><th>機能</th><th>本製品のみ</th><th>スマートフォン接続時</th></tr>
<tr><td>GPS警報</td><td>警報しない</td><td rowspan="3">警報する</td></tr>
<tr><td>レーダー警報</td><td rowspan="2">警報する</td></tr>
<tr><td>無線警報</td></tr>
<tr><td>各種警報音声</td><td>アラーム音</td><td>音声アナウンス</td></tr>
<tr><td>LSC機能/レーダー受信感度設定</td><td>なし</td><td>あり</td></tr>
<tr><td>各種設定変更</td><td>できない</td><td>できる</td></tr>
<tr><td>待機時の本体LED色</td><td>緑点灯</td><td>青点灯
※スマートフォンと正常に接続できていない場合は緑点灯
※設定によりLED色は変更可能</td></tr>
</table>

◆LSC機能

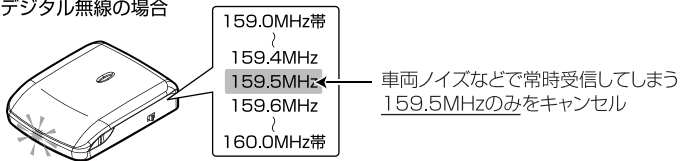
スマートフォンと接続すると、スマートフォンアプリ内でLSC機能の設定を行う事が出来ます。
LSC機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞など車が低速走行時は、警報音を自動的にミュート（消音）する機能です。

【ON】・・・スマートフォンの位置情報サービスによる自車速度が29km/h以下の場合に、GPS警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をミュート（消音）します。

【OFF】・・・走行速度に関係なく警報音を鳴らす。

基本操作

◆無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。
※カーロケ・350.1MHz無線・警備無線は設定(登録)できません。

※キャンセルした159.5MHz以外の159.0～159.4MHz、159.6～160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

スマートフォン設定でOFFにした警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。

無線キャンセル登録方法

1 無線警報中に

2 音量スイッチの【+】と【−】を同時に短押しする。

3 「ピッピッ」と鳴れば登録完了です。

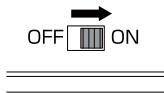
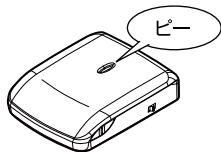
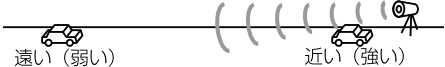
無線キャンセル登録解除方法

レーダー本体をデータリセットすると登録を解除することができます。ただし、スマートフォンで設定した内容もすべてお買い上げ時の状態になります。

基本操作

◆初期状態に戻す（データリセット）

登録したすべてのデータをリセット(初期化)し、お買い上げ時の状態に戻します。

1. 音量スイッチの【+】と【−】を押しながら
2. 電源を入れる。
3. 「ピー」と音が鳴ればリセット完了です。

警報について

◆レーダー警報について

レーダー式取締り機（⇒P33）に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機までの距離（電波の強さ）			遠い（弱い） → 近い（強い）
LED赤点滅速度			遅い → 早い
アラーム音	受信感度（注1）	LOW	警報を行いません（最も近い位置から警報を行います）
		HI	警報を行いません／警報を行います
		S-HI	警報を行いません／警報を行います
		HYPER	警報を行います
ステルス波受信（⇒P33）	LED表示		早い赤点滅
	アラーム音		アラーム音が鳴ります。

※レーダー警報中でもGPS警報（スマートフォン接続時）、無線警報を優先します。
（注1）受信感度（スマートフォン接続時）はLOW/HI/S-HI/HYPER/AUTOから選択することができます。
本製品のみで使用する場合は、常にHYPERとなります。

警報について

◆無線警報について

無線警報をLED表示とアラーム音でお知らせします。

警報種類	本体LED表示	受信レベル	点滅速度
カーロケ／350.1／デジタル／署活系／ワイド／取締特小／警察活動／警察ヘリテレ	赤点滅	弱い	遅い
		強い	早い
パトロールエリア	赤点滅	—	早い
新救急／消防ヘリテレ／消防	橙点滅	弱い	遅い
		強い	早い
レッカー／高速管理車両／警備／タクシー	黄点滅	—	遅い

◆オービス・GPS警報について

本製品のみではオービス・GPS警報は行いません。スマートフォン接続時、スマートフォンの位置情報サービスを利用して警報を行います。
オービス・GPS警報についての詳細はアプリの説明を参照ください。

◆無線の種類について

名称	内容
カーロケ無線	緊急車両に装備されたGPS受信機より算出された位置データを、各本部の車両管理センターへ定期的に送信する無線です。

⚠ 注意

・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わないため、本製品での受信はできません。

※カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。
※カーロケーターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

付録

名称	内容
350.1MHz無線	取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。
デジタル無線	各警察本部と移動局（緊急車両等）との連絡用として使用される無線です。
署活系無線	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用される無線です。
ワイド無線	警察専用の自動車携帯電話で使用される無線です。
取締特小無線	シートベルト、一時停止など取締現場では普通350.1MHz無線を使用しますが、取締りの連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。
警察活動無線	機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。
警察ヘリテレ無線	主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使用される無線です。
消防ヘリテレ無線	火事等の事故処理や連絡用として使用されています。
新救急無線	救急車と消防本部の連絡用無線として使用されています。主に首都圏で使用されています。

名称	内容
消防無線	消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用される無線です。
レッカー無線	東名、名神の一部高速道路や、一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用連絡無線を使用しています。 ※一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。
高速管理車両無線	NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本が使用している業務用連絡無線です。 主に渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使用しています。
警備無線	各地の警備会社が使用している無線です。
タクシー無線	各地のタクシー会社が使用している無線です。

付録

名称	内容
パトロールエリア	取締りに使用されている無線を連続して複数受信した際に、検問等が行われている可能性が高いと判断し、警報を行います。 ! ・受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内2つ以上の設定がONになっていないと、パトロールエリア警報は行いません。 ・必ず検問、取締等を行なっているとは限りません。

◆取締りの種類と方法

名称	種別	内容
ステルス式取締り	有人式取締り	取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。至近距離でレーダー波を発射するため、受信できないことや、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは注意が必要です。
レーダー式取締り	有人式取締り オービス式取締り	レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。 また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。
新Hシステム式取締り	オービス式取締り	レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。
移動オービス式 パトカー車載式取締り	有人式取締り	ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。

付録

名称	種別	内容
ダブルオービス式取締り	有人式取締り	固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。
ループコイル式取締り	オービス式取締り	測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。
LHシステム式取締り	オービス式取締り	速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。
光電管式取締り	有人式取締り	2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。
追尾式取締り	有人式取締り	パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。
NHシステム式取締り	オービス式取締り	通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。 現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。

◆故障かな?と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症　状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	・電源スイッチはONになっていますか？ ・シガープラグコードが抜けかかっていませんか？ ・車両シガーソケットを分岐していませんか？	18 17 5
警報をしない	・音量は正しく設定してありますか？	21
レーダー警報をしない場合	・レーダー式以外の取締りではありませんか？	33〜34
スマートフォンと 接続できない	・スマートフォンのBluetooth設定はONになっていますか？ ・初回接続時、Bluetooth設定内の『RADARPHONE』をタップしましたか？	ー ー

◆商標について

・COBRA IRADAR,POWERED BY COBRA IRADAR と Powered by Cobra iRadar Logo は米国の Cobra Electronics Corporation からのライセンスにもとづき使用できる、米国で登録されている商標です。
・Android および AndroidMarket は Google Inc. の商標または登録商標です。

付録

◆製品仕様

○電源電圧　DC12V
○専用最大消費電流　250mA以下
○検波方式
　FMトラッキングタイムカウント方式
○本体サイズ
　63.8(W)x81.5(H)x21(D)/mm突起部除く
○動作温度範囲　-10℃～65℃
○重量　69g
○受信周波数
　Xバンド(10.525GHz)
　Kバンド(24.200GHz)
　取締り用連絡無線(350.1MHz帯)
　カー･ロケーター･システム(407MHz帯)
　デジタル無線　(159MHz帯～160MHz帯)
　署活系無線　(347MHz帯、361MHz帯)
　ワイド無線　(336MHz帯～338MHz帯)
　警察ヘリテレ無線　(340MHz帯～372MHz帯)
　消防ヘリテレ無線　(382MHz帯～383MHz帯)
　取締特小無線　(422MHz帯)
　レッカー無線　(154MHz帯、465MHz帯～468MHz帯)
　新救急無線　(371MHz帯)
　消防無線　(466MHz帯)
　高速管理車両無線　(383MHz帯)
　警察活動無線　(162MHz帯)
　警備無線　(468MHz帯)
　タクシー無線　(458MHz帯～459MHz帯、467MHz帯)

○Bluetooth仕様
　BTversion　2.1
　プロファイル　SPP
　送信出力　Class2
　機器名称　RADARPHONE

◆対応ハードスペック、必要機能

●OS

Android 2.2/2.3

※OS メジャーアップデートにより一部機能が正常に動作しなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

●ディスプレイ解像度

480×800 をベースに解像度により画面レイアウトを自動で調整します。

※ご使用のスマートフォンによってレイアウトが異なる場合があります。

●Bluetooth 機能

プロファイル：SPP

※Bluetooth のバージョンまたはプロファイルが適合しても接続できない場合があります。
あらかじめご了承ください。

●GPS 機能

●3G 回線